

平成18年6月12日
企画部行政評価室

第5回県民満足度調査の結果

平成18年6月
宮城 県

第5回調査の実施に当たって、調査への回答しやすさ・表現の分かりやすさの向上等のため、第1回～第4回まで用いてきた調査票の様式を見直した。

このため、調査項目及び評価の尺度は第1回～第4回までと同一の条件で調査を実施しているが、調査票の記載事項、質問順序、質問文の内容及び質問への回答方式が異なるため、従来の調査結果との比較には注意が必要である。

目 次

趣 旨	1
調査方法等	1
調査結果の概要	2
1 第5回調査の特徴	2
重視度	2
満足度	2
2 属性別の特徴	4
全体的な傾向	4
圏域別	8

趣旨

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第7条第2項の規定に基づき、第5回県民満足度調査で把握した県民の意識に関する情報を分かりやすく取りまとめ、公表するもの。

調査方法等

1 調査目的

県民の意向を数量化して把握し、データベース化した上で、次のような目的に活用する。

- ア 県の政策、施策の評価に活用
- イ 政策、施策の実施上の問題点と改善への糸口を発見するために活用
- ウ 政策、施策に関する県民の意向に関する情報を県民と共有 等

2 調査の種類及び回収状況等

種 類	調 査 対 象	調査対象者数	回収数(回収率)
一般県民満足度調査	20歳以上の県民	4,000名	1,721通(43.0%)
有識者(市町村職員)満足度調査	県内43市町村の職員(平成18年2月15日時点の市町村数)	516名	338通(65.5%)
有識者(学識者等)満足度調査	学識者, マスコミ関係者, 企業経営者, 各種団体・NPO代表者	200名	69通(34.5%)

3 調査項目等

調査項目

- ア 宮城県総合計画第 期実施計画で定める36政策の認知度, 関心度, 重視度, 満足度及び政策の中で優先すべき施策とその重視度及び満足度の7項目
- イ 回答者の属性に関する項目(性別, 年齢, 居住地, 職業等)
- ウ 調査に対する評価に関する設問(記入の負担感, 所要時間, 調査方法の適切性等)

調査の尺度(スケール)

政策の認知度, 関心度については4段階評価で回答を得ているほか, 政策, 施策の重視度, 満足度については100点満点の点数で回答を得ている。

なお, 点数には, 下記の区分を設け, あらかじめ提示している。

重視度	重要ではない	} (0-39)	あまり重要ではない	} (40-59)	ある程度重要である	} (60-79)	重要である	} (80-100)
満足度	不満である		やや不満である		ある程度満足である		満足である	

4 調査期間

平成18年2月15日(水) ~ 平成18年3月5日(日)

調査結果の概要

1 第5回調査の特徴

「暮らし」分野をはじめとした、日常生活により身近な政策の重視度及び満足度が高い傾向が見られた。

重視度

重視度（中央値）の高い政策を見てみると、政策2「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」が85点で36政策中もっとも高い点数を示している。

分野ごとに見ると、政策2を含めた「暮らし」に属する政策の重視度がすべて80点以上を示している。また、「なりわい」に属する政策21「雇用の安定と勤労者福祉の充実」が80点、「ふるさと」に属する政策22「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進」、政策30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」の重視度がそれぞれ80点、75点を示したが、それ以外のすべての政策は70点となった。

全体として、日常生活により身近な施策等を含む政策の重視度が高い傾向が見られる。

なお、36政策のうち、重視度の高い上位5政策は右表のとおりである。

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」が前回9位から2位へと上昇していることが注目される。

また、前回1位の政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」は5位へと後退している。

重視度の高い上位5政策

政策番号	政策名	第5回		第4回		
		順位	中央値	順位変動	順位	中央値
2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	1	85.0	4	5	80.0
3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	2	80.0	7	9	80.0
6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	2	80.0	0	2	85.0
21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	2	80.0	1	3	80.0
7	県土の保全と災害に強い地域づくり	5	80.0	4	1	90.0
22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	5	80.0	2	7	80.0

満足度

満足度（中央値）は60点を最高得点として、それを上回る政策はなかった。

「暮らし」に属する政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」を含めた3政策が60点を示したほか、同じく「暮らし」に属する政策6「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり」、政策10「豊かな自然環境の創造・保全」が55点となったが、それ以外のすべての政策は50点となった。

なお、36政策のうち、満足度の高い上位5政策は右表のとおりである。

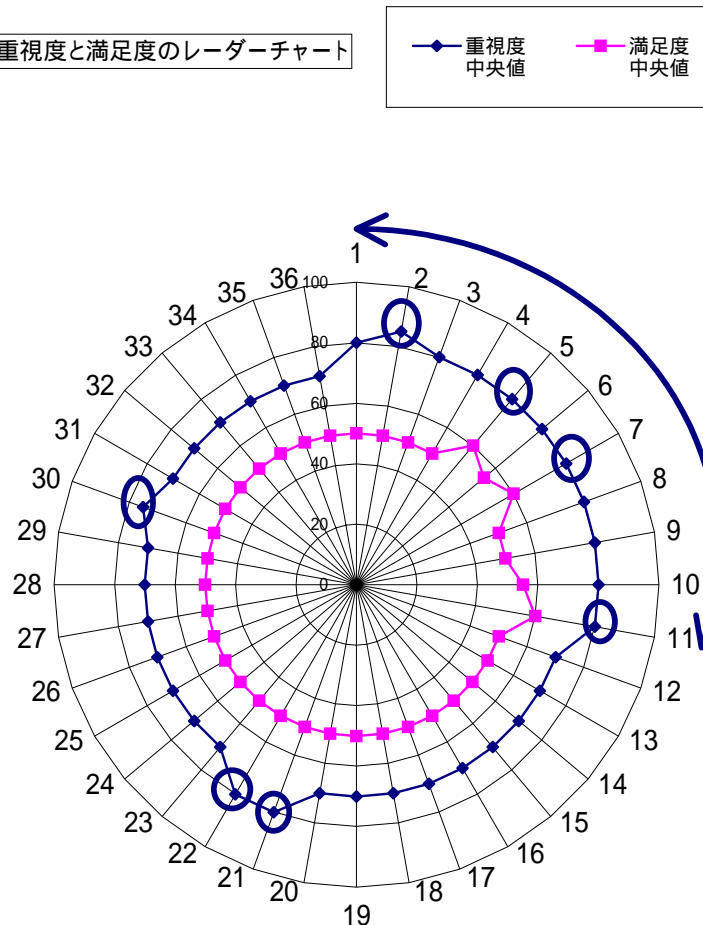
政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」が前回10位から1位へと上昇していることが注目される。

満足度の高い上位5政策

政策番号	政策名	第5回		第4回		
		順位	中央値	順位変動	順位	中央値
5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	1	60.0	3	4	60.0
7	県土の保全と災害に強い地域づくり	1	60.0	9	10	60.0
11	循環型社会の形成	1	60.0	1	2	60.0
6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	4	55.0	2	2	60.0
10	豊かな自然環境の保全・創造	5	55.0	1	6	60.0

分野	政策番号	政策名	中重視 中央値	中満足 中央値	かい離
くらし	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	80.0	50.0	30.0
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	85.0	50.0	35.0
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	80.0	50.0	30.0
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	80.0	50.0	30.0
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	80.0	60.0	20.0
	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	80.0	55.0	25.0
	7	県土の保全と災害に強い地域づくり	80.0	60.0	20.0
	8	地球環境の保全	80.0	50.0	30.0
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	80.0	50.0	30.0
	10	豊かな自然環境の保全・創造	80.0	55.0	25.0
	11	循環型社会の形成	80.0	60.0	20.0
なりわい	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	70.0	50.0	20.0
	13	新成長産業の創出・育成	70.0	50.0	20.0
	14	新しい時代を担う産業人の育成	70.0	50.0	20.0
	15	高度な産業技術の普及推進	70.0	50.0	20.0
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	70.0	50.0	20.0
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	70.0	50.0	20.0
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	70.0	50.0	20.0

重視度と満足度のレーダーチャート



(単位:点)

分野	政策番号	政策名	中重視 中央値	中満足 中央値	かい離
なりわい	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	70.0	50.0	20.0
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	70.0	50.0	20.0
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	80.0	50.0	30.0
ふるさと	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	80.0	50.0	30.0
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	70.0	50.0	20.0
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	70.0	50.0	20.0
	25	爽やかなスポーツライフの実現	70.0	50.0	20.0
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	70.0	50.0	20.0
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	70.0	50.0	20.0
	28	調和ある県土利用の推進	70.0	50.0	20.0
	29	条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進	70.0	50.0	20.0
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	75.0	50.0	25.0
	31	広域的な地域連携の推進	70.0	50.0	20.0
	32	分権社会の形成	70.0	50.0	20.0
まじわり	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	70.0	50.0	20.0
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	70.0	50.0	20.0
	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	70.0	50.0	20.0
	36	高度情報化に対応した社会の形成	70.0	50.0	20.0

1 「中央値」は、回答者をデータの値の小さい順に並べた時に、真ん中に位置する回答者の値。

2 「かい離」は、各政策の重視度中央値から満足度中央値を引いて求めた値。

かい離の大きさの度合いは、当該政策を重点的に行う必要性の高低の目安になると考えられる。

2 属性別の特徴（附属資料に「属性別比較一覧」を掲載）

全体的な傾向

ア 重視度

政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」、政策23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」、政策24「男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」、政策30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」で、県全体と比較してより高い重視度を示す属性が目立った。

（県全体と比較して各属性の重視度が高い場合、網掛けをしている。）

政策番号	政策名 県全体での重視度	属性ごとの重視度(県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)										
		圏域別							性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上
3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	80	85		87.5		85			85	85	
23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	70	75	80	75	75	75			75	80	
24	男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成	70		75	80	75				75	80	
30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	75		70	70	80	77.5	80	70		70	80

圏域別では、栗原圏域が県全体と比較して計7つの政策でより高い重視度を示した。

性別では、男性が県全体と比較してより低い重視度を示した政策が目立ったのに比較して、女性ではより高い重視度を示したものが3政策と回答に特徴が見られた。

年代別では、65歳以上が県全体と比較して計6つの政策でより高い重視度を示したのに対し、65歳未満では3政策でより低い重視度を示すなど、年代間で回答の特徴に差が見られた。

県全体と各属性を比較した場合の差		（記述に関連する部分に網掛けをしている。）										
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上
県全体と比較して重視度中央値が高い政策数		4	2	3	7	2	2	3	0	3	1	6
県全体と比較して重視度中央値が低い政策数		2	5	4	1	2	3	4	4	0	3	1

イ 満足度

政策 5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」、政策 7「県土の保全と災害に強い地域づくり」、政策 10「豊かな自然環境の保全・創造」、政策 11「循環型社会の形成」で、県全体と比較してより低い満足度を示す属性が多く見られた。いずれも「暮らし」分野に属する政策である。

(県全体と比較して各属性の満足度が低い場合、網掛けをしている。)

政策番号	政策名											
	県全体での満足度	属性ごとの満足度(県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)										
		圏域別							性別		年代別	
	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組											
	60	50	55				55	50		55		
7	県土の保全と災害に強い地域づくり											
	60		55		55		55	55		57.5		
10	豊かな自然環境の保全・創造											
	55	50	50	60				50	60			
11	循環型社会の形成											
	60	55	50				55	55		55		

他方、「暮らし」分野に属する他の政策、「ふるさと」分野に属する政策のうち教育関連の政策、「まじわり」分野の政策などでは、県全体と比較してより高い満足度を示す属性が多く見られた。

圏域別では、仙南圏域が県全体と比較して計 5 つの政策でより低い満足度を示した。その一方で、大崎圏域では、県全体と比較して計 21 政策でより高い満足度を示した。

性別では、男性が県全体と比較してより低い満足度を示した政策が目立ったのに比較して、女性では県全体と比較してより低い満足度を示した政策はなく、計 13 政策でより高い満足度を示すなどの特徴が見られた。

年代別では、65 歳未満が県全体と比較して計 3 政策でより低い満足度を示した。これに対して 65 歳以上では県全体と比較してより低い満足度を示した政策はなく、計 18 政策でより高い満足度を示すなどの特徴が見られた。

県全体と各属性を比較した場合の差												
(記述に関連する部分に網掛けをしている。)												
	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
県全体と比較して満足度中央値が低い政策数	3	5	0	1	0	0	3	4	0	3	0	
県全体と比較して満足度中央値が高い政策数	2	0	21	3	9	7	0	0	13	0	18	

ウ 優先度 1 位の施策

36 政策中、17 政策では県全体を含む全ての属性別で見した場合にも優先度 1 位の施策に差は見られなかった。

これ以外の 19 政策では県全体と比較した場合に属性別の優先度 1 位施策が異なる場合が見られた。

このうち、政策 8「地球環境の保全」、政策 9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」など「くらし」分野の環境関連の政策について、属性別の優先度 1 位施策にばらつきが見られた。

このほか、「なりわい」分野の政策については、圏域別、性別、年代別のいずれの属性で見した場合にも、優先度 1 位施策に差が見られるケースが目立った。

「なりわい」分野の中でも、政策 16「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出」では、特に圏域別の差が顕著に見られた。

本政策では、県全体と同じく仙台、大崎、石巻圏域では「魅力ある商店街づくりによる商業の振興」であるのに対し、仙南圏域では「地域資源を活用した観光産業の振興」が、栗原圏域では「地域間の連携による地域産業の育成」が、登米圏域では「農林水産物の付加価値の向上」が、気仙沼本吉圏域では「農林水産業や観光産業などの産業間の連携」が施策優先度 1 位であった。

また、政策 21「雇用の安定と勤労者福祉の充実」では、県全体では「高齢者の雇用・就業機会の拡大」が優先度 1 位であるのに対し、男性及び 65 歳未満では「雇用の創出」が、女性では「女性が働きやすい環境の整備」が優先度 1 位であり、性別及び年代別の差が目立った。

上記のほか、「ふるさと」分野の政策 24「男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成」では、県全体・他の属性別では「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」が優先度 1 位であるのに対し、65 歳以上では「高齢者がいきいきと生活する地域づくり」が優先度 1 位であり、県全体と比較して唯一異なった結果を示したことが特徴として挙げられる。

政策番号	政策名											
	県全体での優先度1位施策	属性ごとの優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)										
		圏域別						性別		年代別		
	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
地球環境の保全												
8	地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減							環境に配慮した生活様式、事業活動の推進	環境に配慮した生活様式、事業活動の推進	環境に配慮した生活様式、事業活動の推進		環境に配慮した生活様式、事業活動の推進
環境負荷の少ない地域づくりの推進												
9	河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全	ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進	ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進	ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進			河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全 ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進		ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進			
産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出												
16	魅力ある商店街づくりによる商業の振興		地域資源を活用した観光産業の振興		地域間の連携による地域産業の育成	農林水産物の付加価値の向上		農林水産業や観光産業などの産業間の連携	農林水産物の付加価値の向上		農林水産物の付加価値の向上	
消費者ニーズに即した産業活動の展開												
17	安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化			県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進			
産業基盤の整備による生産力の強化												
18	物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備			ほ場整備等農業に必要な基盤の整備				漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備			ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	
足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化												
19	中小企業の経営基盤の強化			農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化					農業における経営基盤の強化	
産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進												
20	個人が自ら職業能力開発できる環境整備	熟練技能者の能力の活用・継承				より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	熟練技能者の能力の活用・継承	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	
雇用の安定と勤労者福祉の充実												
21	高齢者の雇用・就業機会の拡大		雇用の創出			雇用の創出	雇用の創出		雇用の創出	女性が働きやすい環境の整備	雇用の創出	
男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成												
24	男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり										高齢者がいきいきと生活する社会づくり	

圏域別

ア 仙台圏域

重視度では、政策3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」、政策23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」について、県全体と比較して5点高いなど、計4政策でより高いポイントを示した。

満足度では、政策5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」で、県全体と比較して10点低いなど、計3政策でより低いポイントを示した。

優先度1位の施策では、政策7「県土の保全と災害に強い地域づくり」で、県全体の「地域ぐるみの防災体制整備」ではなく、「地震防災のために必要な施設、設備の整備」が1位となるなど、計7政策で県全体と差が見られた。

政策34「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」が、県全体と比較して重視度が2.5点高く、優先度1位の施策が「バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備」であり、属性別に見た場合に、唯一他と異なることが特徴として挙げられる。(県全体・他の属性別では「国道、県道、市町村道の整備」が優先度1位施策であった。)

政策番号	県全体重視度	圏域別の重視度 (県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)							性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上
34	70	72.5					80				80	

政策番号	県全体での優先度1位施策	圏域別の優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)							性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上
34	国道、県道、市町村道の整備	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備										

イ 仙南圏域

重視度では、政策23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」で、県全体と比較して10点高く、政策24「男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成」で、県全体と比較して5点高い結果となる一方で、県全体と比較してより低い重視度を示した政策が計5政策あった。

満足度では、計5政策でより低いポイントを示した。このうちでも、政策11「循環型社会の形成」で、県全体と比較して10点低く、全ての属性別で見した場合にも最も低い満足度を示した点が注目される。

優先度1位の施策では、政策9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」で、県全体の「河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全」ではなく、「ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」が1位となるなど、計3政策で県全体と差が見られた。

政策番号	県全体満足度	圏域別の満足度 (県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)							性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上
11	60	55	50				55	55		55		

ウ 大崎圏域

重視度では、政策 24「男女共同参画社会の実現と全ての人々が参加できる社会の形成」で、県全体と比較して 10 点高く、政策 20「産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進」及び政策 23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」で、県全体と比較して 5 点高い結果となる一方で、県全体と比較してより低い重視度を示した政策が計 4 政策あった。

満足度では、県全体と比較して低い満足度を示した政策はなく、計 21 政策で県全体と比較してより高いポイントを示したことが特徴として挙げられる。

優先度 1 位の施策では、政策 9「環境負荷の少ない地域づくりの推進」で、県全体の「河川や湖沼、海等の水環境（特に水質）の保全」ではなく、「ダイオキシン類や PCB 廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進」が 1 位となるなど、計 4 政策で県全体と差が見られた。

	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上
県全体と比較して満足度 中央値が低い政策数	3	5	0	1	0	0	3	4	0	3	0
県全体と比較して満足度 中央値が高い政策数	2	0	21	3	9	7	0	0	13	0	18

エ 栗原圏域

重視度では、政策 3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」で、県全体と比較して 7.5 点高い結果となったほか、政策 17「消費者ニーズに即した産業活動の展開」を始めとした計 6 政策で、県全体と比較して 5 点高い結果となった。

満足度では、政策 7「県土の保全と災害に強い地域づくり」で、県全体と比較して 5 点低いポイントを示した。その一方で、政策 1「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり」を始めとした計 3 政策で県全体と比較して 5 点高い結果となった。

優先度 1 位の施策では、計 4 政策で県全体との差が見られた。

このうち、政策 17「消費者ニーズに即した産業活動の展開」が、県全体と比較して重視度が 5 点高く、優先度 1 位の施策が県全体の「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」ではなく、「県産品の流通・販売の促進」であること、及び政策 23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」が、県全体と比較して重視度が 5 点高く、優先度 1 位の施策が県全体の「生涯学習を支援する関連施設の整備・充実」ではなく、「多様なニーズに対応した学習機会の提供」であることが注目される。

政策 番号	県全体 重視度	圏域別の重視度 (県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満
17	70				75						
23	70	75	80	75	75				75		80

政策 番号	県全体での 優先度 1 位施策	圏域別の優先度 (県全体と同じ施策が優先度 1 位の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別		
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上
17	安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化						県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進			県産品の流通・販売の促進	県産品の流通・販売の促進
23	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実						多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供

オ 登米圏域

重視度では、政策 23「生涯にわたって学び楽しめる環境の充実」で、県全体と比較して 5 点高い結果となったほか、政策 30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」で、2.5 点高い結果となった。

満足度では、県全体と比較して低い満足度を示した政策はなく、計 9 政策で県全体と比較してより高いポイントを示した。「暮らし」分野の環境関連政策及び「ふるさと」分野の教育関連政策で満足度のポイントが高いことが特徴として挙げられる。

優先度 1 位の施策では、政策 25「実り豊かなスポーツライフの実現」で、県全体の「生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実」ではなく、「地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実」が 1 位となるなど、計 7 政策で県全体と差が見られた。

県全体と各属性を比較した場合の差											
	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上
県全体と比較して満足度 中央値が低い政策数	3	5	0	1	0	0	3	4	0	3	0
県全体と比較して満足度 中央値が高い政策数	2	0	21	3	9	7	0	0	13	0	18

政策 番号	県全体での 優先度 1 位施策	圏域別の優先度(県全体と同じ施策が優先度 1 位の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別		
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上
実り豊かなスポーツライフの実現												
25	生涯スポーツ社会の 実現に向けた環境 の充実						地域と連携した 学校体育・ス ポーツの推進に 向けた環境の 充実					

カ 石巻圏域

重視度では、政策 3「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」及び政策 30「地域の自立性を高めるための都市の再生と強化」で、県全体と比較して 5 点高い結果となった。

満足度では、県全体と比較して低い満足度を示した政策はなく、計 7 政策で県全体と比較してより高いポイントを示した。「まじわり」分野に属する政策の満足度のポイントが全般的に高い結果となった。

優先度 1 位の施策では、政策 2「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」で、県全体の「地域の中核的な病院の整備」ではなく、「救急医療体制の充実」が 1 位となるなど、計 9 政策で県全体と差が見られた。

県全体と各属性を比較した場合の差											
	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上
県全体と比較して満足度 中央値が低い政策数	3	5	0	1	0	0	3	4	0	3	0
県全体と比較して満足度 中央値が高い政策数	2	0	21	3	9	7	0	0	13	0	18

政策 番号	県全体での 優先度 1 位施策	圏域別の優先度(県全体と同じ施策が優先度 1 位の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり											
2	地域の中核的な病 院の整備						救急医療体制 の充実				

キ 気仙沼・本吉圏域

重視度では、政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」及び政策 34「国内の交流を進めるための交通基盤の整備」で、県全体と比較して 10 点高く、政策 2「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり」で、県全体と比較して 5 点高い結果となる一方で、県全体と比較してより低い重視度を示した政策が計 4 政策あった。

満足度では、政策 5「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組」のほか、計 3 政策で県全体と比較して 5 点低い結果となった。その一方で、県全体と比較してより高い満足度を示した政策はなかった。

優先度 1 位の施策では、計 10 政策で県全体と差が見られた。

このうち、政策 18「産業基盤の整備による生産力の強化」が、県全体と比較して重視度が 10 点高く、優先度 1 位の施策が県全体の「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」ではなく、「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」であることが注目される。

政策番号	県全体重視度	圏域別の重視度 (県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別	
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満
18	産業基盤の整備による生産力の強化						80				75

政策番号	県全体での 優先度 1 位施策	圏域別の優先度(県全体と同じ施策が優先度 1 位の場合、各属性の欄は空白としている)						性別		年代別				
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上		
18	物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備				ほ場整備等農業に必要な基盤の整備						漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備			ほ場整備等農業に必要な基盤の整備

附 属 資 料

目 次

1 属性別比較一覧	1
重視度中央値	1
満足度中央値	2
施策の優先順位	3
2 政策の重視度・満足度（中央値）	7
（参考）第5回調査 回答者属性一覧	8

1 属性別比較一覧 満足度中央値

(県全体と比較して各属性の満足度が低い場合、網掛けをしている。)

分野	政策番号	政策名																					
		属性ごとの満足度(県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)																					
		圏域別						性別		年代別													
県全体での満足度										男性	女性	65歳未満	65歳以上										
仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上													
く ら し な り わ い	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり										50			55	55	55			55		60	
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり										50			60								60
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり										50			55								55
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備										50			55					52.5		55	
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組										60	50	55				55	50		55		
	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり										55		52.5	60		60			60		60	
	7	県土の保全と災害に強い地域づくり										60		55		55		55	55		57.5		
	8	地球環境の保全										50			55	55	57.5	55				55	
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進										50			60		55			55		55	
	10	豊かな自然環境の保全・創造										55	50	50	60				50	60			
	11	循環型社会の形成										60	55	50				55	55		55		
	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進										50			55								
	13	新成長産業の創出・育成										50											
	14	新しい時代を担う産業人の育成										50											
	15	高度な産業技術の普及推進										50											
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出										50											
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開										50			60		55			55		55	
	18	産業基盤の整備による生産力の強化										50			55							55	

分野	政策番号	政策名																					
		属性ごとの満足度(県全体と同じ点数の場合、各属性の欄は空白としている)																					
		圏域別						性別		年代別													
県全体での満足度										男性	女性	65歳未満	65歳以上										
仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳 未満	65歳 以上													
な り わ い ふ さ と ま じ わ り	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化										50											
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進										50											55
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実										50			55			55					55
	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進										50			55		57.5			55		55	
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実										50			60		55	55		55		60	
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成										50			60							55	
	25	実り豊かなスポーツライフの実現										50			60	55	55			55		60	
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興										50	52.5				55			55		55	
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進										50											
	28	調和ある県土利用の推進										50											
	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進										50											
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化										50			55							55	
	31	広域的な地域連携の推進										50			55								
	32	分権社会の形成										50											
	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化										50	52.5		60					55			
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備										50			57.5		55	55		55		60	
	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進										50					55						
	36	高度情報化に対応した社会の形成										50			52.5			55		55			

分野	政策名													
	政策番号	県全体での優先度1位施策	属性ごとの優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)											
			圏域別					性別		年代別				
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
な り わ い	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進													
	12	農業分野の研究開発	創造的研究開発の推進						創造的研究開発の推進	水産業分野の研究開発				
	新成長産業の創出・育成													
	13	医療・福祉関連産業の創出・育成												
	新しい時代を担う産業人の育成													
	14	農林水産業の発展を担う人材の育成	人材育成に必要な指導者の育成						人材育成に必要な指導者の育成					
	高度な産業技術の普及推進													
	15	普及活動を推進する専門的技術者の養成												
	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出													
	16	魅力ある商店街づくりによる商業の振興		地域資源を活用した観光産業の振興		地域間の連携による地域産業の育成		農林水産物の付加価値の向上		農林水産業や観光産業などの産業間の連携		農林水産物の付加価値の向上		農林水産物の付加価値の向上
消費者ニーズに即した産業活動の展開														
17	安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化				県産品の流通・販売の促進		県産品の流通・販売の促進		県産品の流通・販売の促進		県産品の流通・販売の促進			
産業基盤の整備による生産力の強化														
18	物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備			ほ場整備等農業に必要な基盤の整備					漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備				ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	
足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化														
19	中小企業の経営基盤の強化			農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化							農業における経営基盤の強化	
産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進														
20	個人が自ら職業能力開発できる環境整備	熟練技能者の能力の活用・継承					より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	熟練技能者の能力の活用・継承	より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制		より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制		より高度な技術や技能を習得できる職業訓練体制	
雇用の安定と勤労者福祉の充実														
21	高齢者の雇用・就業機会の拡大		雇用の創出			雇用の創出	雇用の創出			雇用の創出	女性が働きやすい環境の整備	雇用の創出		

分野	政策名													
	政策番号	県全体での優先度1位施策	属性ごとの優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)											
			圏域別							性別		年代別		
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
ま じ わ り	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化													
	33	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用								地域を支える港湾の整備と活用				
	国内の交流を進めるための交通基盤の整備													
	34	国道、県道、市町村道の整備	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備											
国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進														
35	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進													
高度情報化に対応した社会の形成														
36	県民生活に関する情報化の推進													

2 政策の重視度・満足度(中央値)

(中央値:点)

分野	政策番号	政策名	重視度				
			一般県民			第5回有識者	
			順位	第5回	参考値 第4回	市町村職員	学識者等
くらし	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	8	80.0	80.0	80.0	80.0
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	1	85.0	80.0	80.0	80.0
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	2	80.0	80.0	85.0	82.5
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	11	80.0	70.0	70.0	80.0
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	8	80.0	70.0	80.0	80.0
	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	2	80.0	85.0	80.0	82.5
	7	県土の保全と災害に強い地域づくり	5	80.0	90.0	85.0	80.0
	8	地球環境の保全	13	80.0	80.0	80.0	80.0
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	8	80.0	80.0	80.0	80.0
	10	豊かな自然環境の保全・創造	11	80.0	73.0	80.0	80.0
	11	循環型社会の形成	7	80.0	80.0	80.0	80.0
なりわい	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	26	70.0	70.0	70.0	75.0
	13	新成長産業の創出・育成	22	70.0	70.0	70.0	80.0
	14	新しい時代を担う産業人の育成	15	70.0	70.0	70.0	80.0
	15	高度な産業技術の普及推進	33	70.0	70.0	65.0	75.0
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	26	70.0	70.0	70.0	77.5
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	15	70.0	79.0	70.0	75.0
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	15	70.0	70.0	70.0	75.0
	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	22	70.0	70.0	70.0	80.0
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	15	70.0	75.0	70.0	80.0
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	2	80.0	80.0	80.0	80.0
ふるさと	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	5	80.0	80.0	80.0	80.0
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	15	70.0	70.0	70.0	70.0
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	15	70.0	70.0	70.0	75.0
	25	実り豊かなスポーツライフの実現	26	70.0	70.0	70.0	70.0
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	26	70.0	65.0	70.0	70.0
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	26	70.0	75.0	75.0	70.0
	28	調和ある県土利用の推進	35	70.0	65.0	65.0	70.0
	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進	26	70.0	70.0	70.0	70.0
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	14	75.0	70.0	70.0	75.0
	31	広域的な地域連携の推進	24	70.0	70.0	70.0	70.0
	32	分権社会の形成	26	70.0	70.0	80.0	72.5
まじわり	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	33	70.0	70.0	70.0	72.5
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	15	70.0	77.0	75.0	75.0
	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	35	70.0	66.0	65.0	70.0
	36	高度情報化に対応した社会の形成	24	70.0	70.0	70.0	80.0

満足度				
一般県民			第5回有識者	
順位	第5回	参考値 第4回	市町村職員	学識者等
6	50.0	60.0	60.0	60.0
8	50.0	59.0	55.0	60.0
24	50.0	60.0	50.0	55.0
12	50.0	55.0	55.0	55.0
1	60.0	60.0	60.0	60.0
4	55.0	60.0	60.0	60.0
1	60.0	60.0	60.0	60.0
12	50.0	55.0	55.0	60.0
12	50.0	60.0	55.0	60.0
5	55.0	60.0	60.0	60.0
1	60.0	60.0	60.0	60.0
24	50.0	60.0	55.0	60.0
24	50.0	59.0	55.0	60.0
24	50.0	58.0	50.0	60.0
35	50.0	60.0	50.0	57.5
24	50.0	60.0	55.0	60.0
12	50.0	60.0	60.0	60.0
12	50.0	60.0	55.0	60.0
24	50.0	56.5	50.0	60.0
24	50.0	60.0	55.0	60.0
12	50.0	50.0	50.0	60.0
8	50.0	60.0	60.0	60.0
12	50.0	60.0	60.0	60.0
12	50.0	60.0	55.0	60.0
11	50.0	60.0	55.0	60.0
8	50.0	60.0	55.0	57.5
12	50.0	60.0	55.0	55.0
35	50.0	55.0	55.0	60.0
24	50.0	60.0	50.0	55.0
24	50.0	60.0	50.0	60.0
24	50.0	60.0	55.0	60.0
24	50.0	59.0	55.0	60.0
12	50.0	60.0	60.0	60.0
6	50.0	60.0	55.0	60.0
12	50.0	60.0	60.0	55.0
12	50.0	60.0	57.5	60.0

注1: 「中央値」とは、回答者をデータの値の小さい順に並べた時に、真ん中に位置する回答者の値です。

注2: 中央値が同数値の場合、その他の指標等を基に順位をつけています。

(参考) 第5回調査 回答者属性一覧

一般県民 圏域別 属性一覧

区分		実数(人)	構成比(%)	仙台		仙南		大崎		栗原		登米		石巻		気仙沼・本吉	
一般県民	全体	1,721		実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)
性別	男	803	47.3	111	49.8	128	52.2	114	47.1	129	46.4	108	46.2	81	43.1	113	43.8
	女	896	52.7	112	50.2	117	47.8	128	52.9	149	53.6	126	53.8	107	56.9	145	56.2
年齢別	20歳代	109	6.4	18	8.1	13	5.3	20	8.3	15	5.4	22	9.4	22	11.7	15	5.8
	30	199	11.7	22	9.9	33	13.5	30	12.4	23	8.3	25	10.7	34	18.1	31	12.0
	40	298	17.6	40	17.9	41	16.7	37	15.3	40	14.4	41	17.5	49	26.1	48	18.6
	50	463	27.3	61	27.4	91	37.1	64	26.4	70	25.2	35	15.0	68	36.2	69	26.7
	60~64	153	9.0	19	8.5	19	7.8	24	9.9	24	8.6	24	10.3	15	8.0	24	9.3
	65歳以上	475	28.0	63	28.3	48	19.6	67	27.7	106	38.1	87	37.2	0	0.0	71	27.5
圏域別	仙台	223	13.4														
	仙南	245	14.7														
	大崎	242	14.5														
	栗原	278	16.7														
	登米	234	14.0														
	石巻	188	11.3														
	気仙沼・本吉	258	15.5														
					仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)		
職業	自営業者	306	18.1	24	10.8	39	16.0	50	20.7	49	17.9	48	20.7	39	20.7	45	17.6
	被用者	496	29.3	65	29.3	91	37.4	67	27.8	74	27.1	58	25.0	73	38.8	61	23.8
	パート・アルバイト	200	11.8	29	13.1	34	14.0	26	10.8	28	10.3	20	8.6	25	13.3	37	14.5
	企業役員・団体代表等	35	2.1	8	3.6	4	1.6	3	1.2	3	1.1	4	1.7	3	1.6	10	3.9
	主婦・主夫	236	14.0	34	15.3	35	14.4	30	12.4	42	15.4	28	12.1	32	17.0	31	12.1
	学生	16	0.9	5	2.3	1	0.4	4	1.7	1	0.4	1	0.4	2	1.1	2	0.8
	無職	355	21.0	52	23.4	37	15.2	55	22.8	72	26.4	62	26.7	9	4.8	57	22.3
	その他	46	2.7	5	2.3	2	0.8	6	2.5	4	1.5	11	4.7	5	2.7	13	5.1
	業種別	農業	186	16.5	6	4.8	17	10.3	32	22.1	35	23.0	40	29.9	7	5.0	7
林業		7	0.6	0	0.0	2	1.2	0	0.0	2	1.3	1	0.7	0	0.0	2	1.3
水産漁業		34	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	7.2	20	12.7
土木・建築業		114	10.1	20	16.0	15	9.1	14	9.7	10	6.6	13	9.7	13	9.4	21	13.4
製造業		207	18.4	16	12.8	45	27.3	27	18.6	32	21.1	25	18.7	35	25.2	22	14.0
電気・ガス・水道業		19	1.7	2	1.6	5	3.0	3	2.1	2	1.3	1	0.7	5	3.6	1	0.6
運輸・通信業		44	3.9	15	12.0	6	3.6	7	4.8	3	2.0	3	2.2	5	3.6	4	2.5
卸・小売業		90	8.0	13	10.4	9	5.5	13	9.0	15	9.9	8	6.0	21	15.1	11	7.0
金融・保険・不動産業		21	1.9	3	2.4	4	2.4	4	2.8	2	1.3	3	2.2	2	1.4	3	1.9
サービス業		213	18.9	28	22.4	32	19.4	24	16.6	25	16.4	18	13.4	17	12.2	29	18.5
医療・福祉関連業		106	9.4	12	9.6	16	9.7	13	9.0	14	9.2	14	10.4	13	9.4	23	14.6
教育・学習関連業		44	3.9	5	4.0	9	5.5	5	3.4	7	4.6	5	3.7	6	4.3	7	4.5
その他		43	3.8	5	4.0	5	3.0	3	2.1	5	3.3	3	2.2	5	3.6	7	4.5
市町村職員		全体	338														
	性別																
圏域別	仙台	118	35.4														
	仙南	56	16.8														
	大崎	79	23.7														
	栗原	7	2.1														
	登米	12	3.6														
	石巻	23	6.9														
	気仙沼・本吉	38	11.4														
	学識者等	全体	69														

注) 性別、年齢別、圏域別、職業、業種別は不明分を除いているため、それぞれの合計と全体の合計は一致しない。